

たまりば

2025年度 春号

Communication 通信 

◆ 発行日 2025年4月 ◆ 発行 認定 NPO 法人 フリースペースたまりば

〒211-0044 川崎市中原区新城 2-4-1
セシズイシイ2 401号室

TEL 044-789-9812

<https://www.tamariba.org>

E-mail : freespace@tamariba.org

やっぱり、たののしかった!!

去る3月8日、たまりばフェスティバルが開催されました！今年のテーマは「たまりばフェスティバル 2024～やっぱりたののしい～」。来場者数約300人、上演時間約4時間。盛り沢山でワクワクわいわくたくた！公式キャラクター、たののんとやっぴーに見守られながら、笑顔が溢れるたののしい一日となりました。

28の演目とともに会場全体が一緒に熱くなったフェスティバル。華麗な進行をやっつてのけるひと、ソロ出演を積み重ねるひと、進化し続けるひと、思わぬ才能が開花するひと、未知の世界に挑戦するひと、盛り上げに全振りなひと、力と知恵を合わせて一つのステージを作り上げたひと。一人一人の、やってみよう！や得意！を寄せ集めてびっくりするくらい濃い時間が出来上がりました。

このステージが輝くために必要不可欠な存在、裏方の人々。この人たちがいなかったら、何もかも成り立たないですね。まずは、プロジェクトXのみんなが、半年かけてフェスティバルの地盤を固めてくれました。当日は、舞台袖、照明、音響と、休憩時間を割きながら秒単位で仕事をこなす若者たち。いつもとは一味違う、淡々と働くお兄さんお姉さんの姿を見て、「すごいかっこいい」という声もちらほら。本当にかっこよかった。

限られた日常の中で、本番に向けた時間を積み重ねて来たみんな。オリジナル劇団のセリフを一生懸命



命に覚えていた姿、ソーラン節などの群舞を繰り返して踊っていた姿、舞台計画を熱心に練る姿など。準備期間のみんなが本当に熱かった！紙面には書ききれないほど、一つのステージに色んな人の思いが詰め込まれています。そんな中で、ぶっつけ本番でステージに参加しちゃえるのも醍醐味。万が一やらかした！となっても大丈夫。うまくいかなくても、それがまたいい味を出したりする。演者も裏方も観客もみんなが繋がっていて、一つ一つに温かい反応がある。安心して飛び跳ねられる場所だからこそ、こんなに素敵な空間が続いているんだろうな…と、しみじみ思います。

午前中のリハーサルから本番まで、たののしい時間は瞬間に過ぎ去っていきました。それぞれな一日を積み上げて、また来年のたまりばフェスティバルが来てくれますように。たののしかったー！



(わらこ)

認定 NPO 法人
フリースペース
たまりば
って…？

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体(フリースペースえんを含む)の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ

スキー合宿は永遠に

1月27日(月)～29日(水)まで群馬県にあるホワイトワールド尾瀬岩鞍で2泊3日のスキースノーボード合宿を行いました。例年よりも移動時間の短い道中、持ってきたお菓子をどんどん開封していく子や最初のサービスイリアで持ってきたお小遣いの



大半を使ってしまふ子がいたり、合宿が楽しみで仕方がない子どもたちは止まらない。ゲレンデに出る前から楽しいことがいっぱいでした。総勢55名の大所帯でロッジノカさんにお世話になり、到着後、板のサイズ合わせをしつつ、久しぶりの雪の感覚を楽しむかのように雪合戦が始まる。かと思えば、その一方ですぐさま部屋に駆け込む子どもたちも。コンセントの取り合い——そう、ゲーム機の充電である。彼らは様々な制限から解放された2泊3日のゲーム合宿を行う。ひとしきりゲームをやり込み、休憩がてらゲレンデに出て現在地と雪の様子を確認、程なくして部屋に戻り再びゲームをする。合宿の成果はいかに!?

スキースノーボードの滑り出しは2日目の朝からで、経験のある中級者、上級者の子どもたちはほとんど滑り出し、初めてスキースノーボードをする初心者の子も半日基本的なスキーの操作を教わり、午後にはリフトに乗ってコースを滑れるまでになっていました。気づくとスタッフなんか気にせず、1人でリフトに乗り何本も滑っていて「ちょーたのしい!」、「合宿来てよかった」と。調子は右肩上がり、ノリノリのまま速度超過し盛大に転倒し、しょんぼり。そんなこともありながら、スキースノーボードができるようになった子どもたちは心躍らせる様子でした。そんな姿をみて今年も合宿ができて良かったなど感じました。帰りは多くの子



どもたちが爆睡。3日間ともに天候に恵まれ、充実したスキースノーボード合宿になりました。バスを降り、みんなを見送ると残されたバッグが1つ。えんの合宿は簡単には終わらない。(としちゃん)

ストリートボーラーと夢バスケット!

3月9日(日)に全天候広場にてバスケットボールイベント「PICK UP GAME」が開催されました。主催は西野 樹さん(PEACE BALLERS)、実はたまりば理事長の西野の息子さんです。



今回、ストリートバスケットで活躍する選手や3on3日本TOPクラスの選手が約20名、夢パークで普段バスケットボールを楽しんでいる子どもたちと勝ち残りゲームをしました。小学校低学年～高校生までの子どもチームが選手たちと戦い、間近で迫力あるプレーを見ました。勝ち残って自信を持った子、負けて悔しい思いをした子、色んな思いが溢れていました。そして、選手たちも子どもたちからエネルギーをもらった!と、活気ある時間が流れていました。「また次回開催しよう。」と、みんな更にバスケット熱が上がっていました。次回も、子どもたちと選手とバスケットボールを通して交流し、キラキラする時間をつくっていきましょう。(ペコ)

一年間の活動を振り返って

3月11日(火)「こども食堂等食支援によせられる困りごとを支える地域のあり方に関する調査報告会」をオンラインで開催しました。昨年度から神奈川県社会福祉協議会と協働で「福祉の支援を必要とする子どもとその家族を食を通して地域全体で支えるしくみづくり」に取り組み、今年度は全国18の子ども食堂、11の中間支援団体・社協等へのヒアリング調査報告を行いました。県内を中心に、北海道から沖縄まで110名以上の組織、個人の参加申し込みがあり関心の高さが伺えます。前半にはえんくるの「フードパントリー」「若者参加の地域づくり」「食を通じた居場所」「相談事業」の報告も行いました。オープンして4年、えんくるには子どもはもちろん、日々様々な人が訪れ色々な困りごとが寄せられます。今後も丁寧に向き合い、声を拾い、地域と繋がっていけることを願っています。(菊地)



指定管理施設

『やってみたい』がいっぱいある場所です
川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<https://www.yumepark.net/>



ブリュッケだより

～ブリュッケってなんだろう～

ブリュッケだより担当の川野辺です。ブリュッケでは「のべさん」って呼ばれています。

最近、「ブリュッケって何なんだろう？」というなんだか哲学チックな問いを居場所のみんなで考えることが多いです。去年も「ブリュッケについて語る」と題したグループワークがありましたし、年が明けてからは来年度のプロポーザルに向けてみんなで意見を出し合おう、なんて話にもなっています。そんな中で「西野さんにブリュッケができた当時のことを聞いてみたい」という声上がり3月の初旬に「西野さんの話を聞く会」が開催されたりもしました。

色々な背景があり、色々な思いを抱えてブリュッケにたどり着いたみんなが、自分のこととしてブリュッケについて考えてくれること、「これからもブリュッケが必要になる人がき

っといるはず」と真剣になってくれることがなんだかとっても嬉しいです。

これからどんな風が変わっていくのか、楽しみですねえ。(のべさん)



HAPPY えんぷりデイ

★1月に夢見ヶ崎動物園に行ってきました。ミドルミーティングで「みんなで動物園に行きたい！」という声から始まった今回の企画。当日は、のんびり動物を見る子、猿と威嚇し合っって本気で喧嘩をする子、動物園の一角の公園でいつも通り遊ぶ子など、少人数で微笑ましくゆっくりとした時間を過ごしました。夢のような幸せなひとときでした！(のすけ)

★2月に「おもしろい仕事人がやってくる！」でハーゲンダッツで働く澤村さんが来てくださり、たくさんの子が参加しました。入社したきっかけやアイスの製造過程、納得いく苺に出会うまで6年かかったことや抹茶味は光と熱を嫌うため透けないカップになっている…等いろいろお話を聞きながら美味しいハーゲンダッツ食べましたー！(えづれ)

★OBのリュウノスケくんが、クッキーとマドレーヌのミニ講習会をしてくれました。パティシエをしている彼はスキーマの達人で、今年のスキーマ合宿に半分コーチで来てくれた時に子どもたちと約束していたそうです。いい匂いを漂わせながら、みんなで賑やかに作ったたくさんのお菓子はあっという間に無くなりました。流石の美味しさでした！(三好)

西野のつづき



学校に行かない子どもの数はどんどん増えて、35万人時代に突入した。今まで不登校は「子どもの甘えだ、怠けだ」と子どもの問題にされ、「親が甘やかすからだ」と親が責められ、「先生の指導が間違っている」と教師のせいになってきた。でもこれほど多くの子どもたちが学校から離れるようになったいま、もはやどれも当てはまらない、これでは説明がつかない時代になってきた。

そもそも「学校そのものを問い直す」時期にきているのではない。江戸幕府が倒れ、明治政府が開国した時に、列強の植民地になってはならんと強い軍隊をつくるため生まれた学校。「右向け右」という号令に従える子どもをつくる必要があった。あれから150年、大きく社会は変わった。人類はロケットで月面着陸までやってのけ、車の無人・自動運転も実用化される。これほど劇的に変化しているのに、学校の教育システムだけは変わっていない。

6歳になったら、同じ箱の中に入れられ、同じ方向を見て、同じ年齢の子と、同じ教科書を使って、同じペースで一斉に授業が行われる。そしてテストで比べられる。私たちのからだに沁みこんでいるこの「当たり前」の学校教育システムが制度疲労を起こしていると考えた方がわかりやすい。先日長野県で開かれた県知事・教育長・文科省局長も参加した「信州学び円卓会議 ともつくフォーラム」に私もゲストとして招かれた。「学びの新しい当たり前を共(とも)に創(つく)る」。長野県のホームページを開いて、「信州学び円卓会議からのメッセージ」を読んでみてほしい。一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をことごとく追求する学びの応援、先生の働き方改革を進め、教員として地域の人材を弾力的に採用したり、子どもや保護者・教員をサポートしてくれる支援人材を採用・配置したり、異動のあり方を検討などの内容がかかっている。

学びの多様化学校をつくり、それをモデルに公立学校を変えたいと宣言したものの、検討すればするほど、公立学校の改革は簡単には進まないが見えてくる。まず取り組むべきは、今までの当たり前を疑い、どこの自治体でも新しい当たり前をつくり出そうという気運(ムーブメント)を生み出すこと。子どもとともに教員も一緒になって、「こどもまんなか」の学びの場をみんなで考えよう。いま民意が変わっていくことが何よりも必要と感じている。(西野博之)



川崎若者就労・生活自立支援センター
ブリュッケ

「Brücke」は、ドイツ語で「かけ橋」。

居場所で人と人がつながり、居場所から地域へ、地域から就労へ、様々なつながりが生まれていく。

そんな人から人への「かけ橋」になっていけたら・・・。

*ブリュッケでは、川崎市内にある福祉事務所のケースワーカーと連携し、15～39歳までの若者たちの居場所・就労支援を行っています。

インフォメーション

★詳しくは事務局まで★

☆開催日が近づきましたら

ホームページでご確認をお願いします☆

たまりばホームページ <https://www.tamariba.org>

フリースペースえん活動報告会(会員向け)

6月28日(土)14:00~(予定)

★2024年度のフリースペースえんの活動報告を行ないます。

昨年はどんな一年間だったかな?一緒に振り返ろう。

たまりば通信リニューアル計画

詳しくは次号の誌面にてお知らせします。

新しい通信をお楽しみに!

フリースペースって、どんなところ?

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像等をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第1回 4月19日(土) ※受付終了※

第2回 6月21日(土) 10:00~12:30

第3回 8月16日(土) 10:00~12:30

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方

会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」

参加費 500円 <要予約・各回先着順>

申込み 第2回 5月1日(木)、第3回 7月2日(水)

ともに 12:30から受付開始

※申込みの際は詳細をホームページでご確認ください。

ご支援いただきありがとうございます

(2024.12.1~2025.2.28)

NPO法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。(敬称略・順不同。希望されない方は掲載しておりません。掲載もれなどの不備がございましたら事務局までご連絡ください。)

赤野香織・一将、朱田貴美、芦田、東靖士、阿比留久美、新井琴乃、新井野誠、飯沼光津子、磯上しのぶ、井畑立明、今村久美、上嶋和巳、氏家敦子、内田成信、内田孝裕、梅田浩二、大石雄太、大塚朝子、大堀悠、大山行雄、岡田孝子、岡本恵子、沖津三千治、奥田礼子、小原宏一、亀井三由希、菊地紫都季、木崎志保、木村純一、久米映里、桑野節子、桑原俊三、古泉聡洋、小出来誠、後藤史子、後藤亮香、櫻井庸平、佐藤研二、佐故潤之輔、椎野修平、重江良樹、重松奈緒、品田雅、清水彩可、白石つや子、鈴木晶子、鈴木咲和、鈴木直子、鈴木美汐、鈴木良一、田老香奈、竹内昭、立川正道、田邊恵佑、田老幸子、塚本志子、土橋優平、手柴充博、寺元健二、中川裕子、中林瞳、中村勇、長山亮子、波瀬浩子、新居千文、野田岳志、橋本誠一、橋本峻、長谷川啓介、畑本和彦、林貞成、林摘菜、平島春美、平野知恵、広岡希美、廣渡明子、福本陽子、細見慶子、本田正男、増井幸子、町田恵美、町田晴子、松浦えりか、水嶋陽、三田恭一、宮岡えり、宮崎芳正、三好洋子、森口幸信、矢崎達則、安田靖子、柳橋小夜子、山口正芳、山下泰司、山下晴子、山田典子、山本哲也、吉井望、吉田純一郎、吉田裕子、吉永真理、吉村友紀子、渡辺まどか、コンペイトウ、津田山町内会、下作延第一町内会、株式会社トランス・ワールド・インダストリー、有限会社リアルエステート

応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です!

振込先→郵便振替口座 00200-2-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

*郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

※他金融機関からも入金できるようになりました。口座番号は↓(支店名を「セ」で検索してください)※

○二九(ゼロニキュウ)店 (029) 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-789-9812



コミュニティスペースえんくる

えんくるは、フードパントリーを併設した「まちの広場」です。

子どもはもちろん、誰もが立ち寄れる居場所を目指しています。

〒214-0021 川崎市多摩区宿河原 6-26-24 フジビル 1階 TEL: 044-813-5248

公式 LINE

